

# 土地家屋調査士研修テキスト

## 確率と最小二乗法による境界復元

### 画地調整の基礎 (座標の無い図面の座標化)

2013・10・01 土地家屋調査士 小野孝治

#### 実施要領第32条

##### 第32条（筆界確認書等の提供）

第1項は、土地の測量を伴う分筆登記や地積更正等の登記申請にあつては、隣接するすべての筆界確認がおろそかになることを防止し、具体的に現地の筆界がどのように確認されたか、提出する添付書面について具体的に現地の筆界がどのように確認されたか、提出する添付書面について具体的に規定したものです。

各号のすべての書面添付することを求めるものではありませんが、重複することは妨げるものでもありません。

(1) 筆界確認書の作成は、通常、隣接土地所有者間において境界立会いが行われた後、そこで確認された点、線で現況測量を実施し、その上で、地積測量図、登記記録の地積等の書証及び現地にある境界標、塀等の物証を参考資料として画地調整を行い、本来あるべき筆界の位置を特定して正しい地積測量図が作成されます。この地積測量図に基づき最終的に境界確認が行われ、作成されるものが「筆界確認書」です。

画地調整を行い……

画地調整＝登記面積に合わせて境界点を動かす  
辺長に合わせて境界点を動かす

## 画地調整

調測86ページ～88ページ参照

(画地調整)

第38条 基礎測量（平面測量を含む）で得た筆界確定の要素、及び資料調査に基づき収集した既存資料とを照合・点検し、面積、辺長の調整計算を行い、周辺土地との均衡調整を図り、筆界点を確定するための作業を復元型画地調整という。

調測86ページ～88ページ参照

(この重要な作業が具体性のないままたった3ページしか書いてないのは情けないことです)

### 復元型画地調整

【主旨】筆界を調査する土地家屋調査士の職務の中で極めて**重要な作業**である画地調整についての規定である。特に復元型画地調整は収集した既存資料から考察し、復元していく作業であり、特段の慎重さと配慮が必要である。

(それほどに重要ならプログラムの一つも提示せい！)

### 分割型画地調整

土地の分割に際しされるものでいわゆる「数学的計算」である。

## 実施要領第33条

(筆界の確認)

第33条

場合における  
の書面に  
の記載が  
筆界を確認  
できるものとする。

- (1) 14条1項の図面
- (2) 14条1項と同等の図面
- (3) 地図に準ずる図面

2 筆界の

人からの提供資料等  
るものとする。

3 筆界の確認を行う場合には、原則として次の各号の方法で行う。

- (1) 法第14条第1項地図の存する地域における筆界については、同地図を現地に復元した地点に存する境界標等の地物を調査して確認するものとする。
- (2) 法第14条第1項地図と同等の精度を有する地図に準ずる図面の存する地域（申請地及び隣接地のすべての地積測量図が保管されている地域を含む。）における筆界については、前号に準じて確認するものとする。
- (3) 地図に準ずる図面（前号に該当するものを除く。）の存する地域における筆界については、同図面及び提出済みの地積測量図を基礎にして境界標等を調査するほか、可能な限り、関係人の立会いを求め、筆界に異議がないか否か等を調査して確認するものとする。

## 図面の構成要素

### 図面の三大要素

- ① 筆界の位置
- ② 辺長
- ③ 面積

この3要素から得られるものは「筆界点座標値」です。

### 画地調整の時期

図面を座標化する段階でする画地調整。

座標値が既にある、得られた後に行う画地調整とある。

### 図面

#### 現地在平板に写し取った図

辺長は基本的には実測値

底辺、高さは図上

(図解法地籍図、図解法14条地図、三斜法地積測量図、道路関係図面)

#### 測量した座標をプロットした図

座標を三斜に変換して求積

座標から求積

(地籍図、14条地図、三斜法地積測量図、区画整理図、耕地整理図、土地改良図、道路関係図面)

## 座標化

調測第38条に書かれた作業、特に「既存資料とを照合、点検し、面積、辺長の調整計算を行い…」これを感じで行うことは不可能である。

座標値のない図面から「画地調整」の考え方を取り入れたプログラムが必要

図面の三大要素を取り入れた

#### 「三斜図→座標化プログラム」

「三角形整合性」の確認…平板図か座標を三斜に変換した図かを推定する。

「外部四点補正」で図面の歪み除去…図面の歪み、縮みを補正する。

#### 「面積・辺長⇒座標化プログラム」

### 画地調整

- ① 元になる図面の誤差＝現状実測の誤差
- ② 元になる図面の誤差＞現状実測の誤差
- ③ 元になる図面の誤差＜現状実測の誤差

元図と実測図の精度によって計算する、判断する重量が変わってきます。

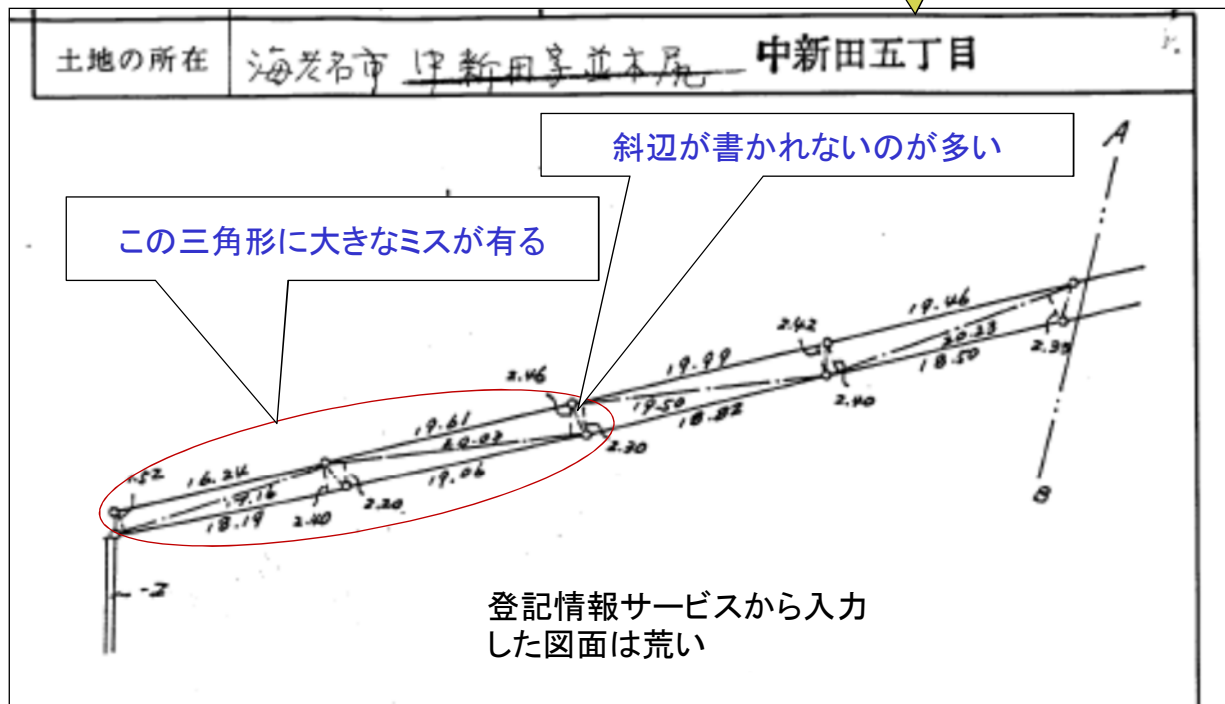
このことを頭に置いて、座標値の無い図面の座標化、画地調整が必要になる。

職業勘や経験値から「先生の判断で」と言うことにはならない。

三斜図 1

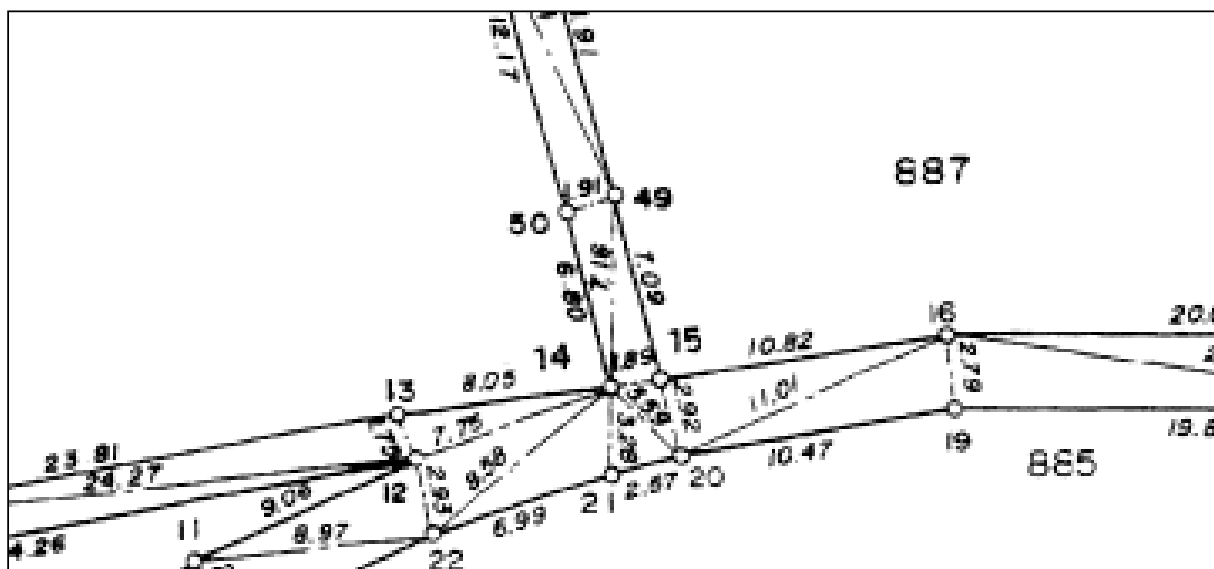
辺長、底辺と高さが記載

図が歪んでいるので図郭も読んで図の歪みも補正する



三斜図 2

辺長 & 片タスキ掛け



×にタスキ掛けした図面もある

## 三角形の整合性から精度確認

標準偏差(重量)を確認する

### 三角形整合性の確認

topに戻る						データ削除		判定		最小単位	整合性のない偏差	整合性のある偏差	標準偏差
										0.01			0.0363
△番号	底辺	斜辺①	斜辺②	図高さ h	計算値 h	差							
1	27.34	9.81	17.69	1.42	1.42	0.0018						0.002	0.000
2	59.07	31.86	27.34	1.9	1.95	-0.0548		-0.055					0.003
3	17.69	9.23	9.81	3.51	3.52	-0.0090						-0.009	0.000
4	20.47	9.23	11.77	2.41	2.33	0.0840		0.084					0.007
5	18.17	6.96	11.77	2.19	2.19	-0.0018						-0.002	0.000
6	17.41	11.03	6.96	2.2	2.20	-0.0028						-0.003	0.000
7	18.24	7.74	11.03	2.17	2.18	-0.0081						-0.008	0.000
8	20.7	13.34	7.74	1.9	1.92	-0.0180		-0.018					0.000
9	17.84	5.5	13.34	2.72	2.72	-0.0001						0.000	0.000
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													

三斜図が図解法か数値法か判断する

## 三斜→画地調整プログラム

元図面の重量

辺長の重量

底辺+高さの重量

**結果**

三斜 ⇒ 座標化プログラム

座標

回数	読み取りの標準偏差	伸縮率	1.0	913	CHEEK
1	0.0558	0.050	0.000		
2	0.063	-0.084	0.000		
3	-0.011	0.082	0.000		
4	-0.003	0.052	0.000		
5	-0.048	0.095	0.000		
6	0.048	0.038	0.000		
7	-0.053	-0.155	0.000		
8	0.006	-0.028	0.000		
9	-0.014	-0.032	0.000		
10	0.029	-0.015	0.000		
11	0.024	0.020	0.000		
12	-0.009	-0.012	0.000		
13	0.000	0.038	0.000		
14	0.024	0.072	0.000		
15	0.049	-0.049	0.000		
16	0.022	0.012	0.000		
17	0.009	0.005	0.000		
18	-0.006	0.043	0.000		
19	-0.045	-0.069	0.000		
20	-0.053	-0.014	0.000		

辺長

点名	辺長	標準偏差	重量
1-2	16.500	-0.001	0.000
2-3	3.700	0.000	0.000
3-4	3.600	0.000	0.000
4-5	10.000	0.000	0.000
5-6	3.300	0.000	0.000
6-7	34.600	0.000	0.000
7-8	13.600	0.000	0.000
8-9	34.250	0.000	0.000
9-10	7.200	0.000	0.000
10-11	7.800	-0.001	0.000
11-12	7.600	-0.001	0.000
12-13	5.800	-0.001	0.000
13-14	7.500	0.000	0.000
14-15	11.500	0.000	0.000
15-16	6.700	0.001	0.000
16-17	28.950	0.000	0.000
17-18	34.250	0.000	0.000
18-19	28.950	0.000	0.000
19-20	35.300	0.000	0.000

面積

点名	底辺	高さ	面積	標準偏差	重量
1-2-3	34.250	3.270	0.049	0.049	0.000
2-3-4	34.300	15.400	0.043	0.043	0.000
3-4-5	32.400	7.650	0.014	0.014	0.000
4-5-6	27.100	3.550	0.057	0.057	0.000
5-6-7	28.950	3.050	-0.037	-0.037	0.000
6-7-8	35.250	7.800	0.086	0.086	0.000
7-8-9	36.550	6.800	-0.040	-0.040	0.000
8-9-10	36.550	12.750	-0.014	-0.014	0.000
9-10-11	28.950	6.800	-0.022	-0.022	0.000
10-11-12	30.200	7.100	0.059	0.059	0.000
11-12-13	31.350	5.500	0.090	0.090	0.000
12-13-14	33.800	10.800	0.061	0.061	0.000
13-14-15	35.300	7.150	0.006	0.006	0.000

三斜図の底辺+高さデータ入力

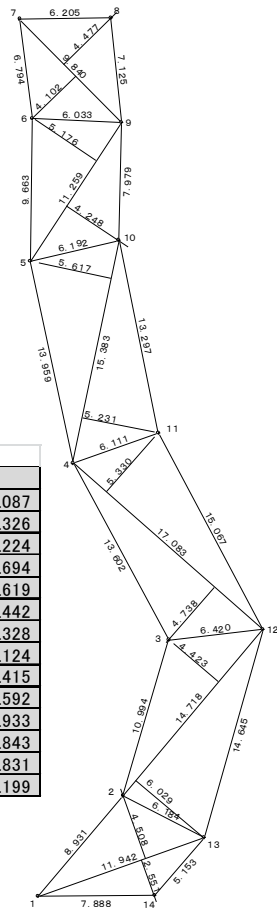
スキャナー+CAD座標読み  
Or 三角形から計算した値

三斜図の辺長データ入力



## 元データと図形

元データ		
0mm	x	y
1	-34873.624	-9819.087
2	-34866.800	-9813.326
3	-34856.253	-9810.224
4	-34844.288	-9816.694
5	-34830.639	-9819.619
6	-34820.978	-9819.442
7	-34814.242	-9820.328
8	-34814.154	-9814.124
9	-34821.244	-9813.415
10	-34829.221	-9813.592
11	-34842.249	-9810.933
12	-34855.544	-9803.843
13	-34869.636	-9807.831
14	-34873.536	-9811.199



座標辺長		辺長mm
1	2	8.931
2	3	10.994
3	4	13.602
4	5	13.959
5	6	9.663
6	7	6.794
7	8	6.205
8	9	7.125
9	10	7.979
10	11	13.297
11	12	15.067
12	13	14.645
13	14	5.153
14	1	7.888
2	13	6.184
3	12	6.420
4	11	6.111
5	10	6.192
6	9	6.033

このデータに誤差をランダムに与え、誤差を持ったデータを使って元データにどれだけ近く計算できるかを検証する。データの正規化が必要。

底辺	底辺	頂点	底辺mm	高さmm
1	13	14	11.942	2.551
1	13	2	11.942	4.508
2	12	13	14.718	6.029
2	12	3	14.718	4.423
4	12	3	17.083	4.738
4	12	11	17.083	5.330
4	10	11	15.383	5.231
4	10	5	15.383	5.617
5	9	10	11.259	4.248
5	9	6	11.259	5.176
7	9	6	9.840	4.102
7	9	8	9.840	4.477

cm単位 (mm切り捨て)

### 条件

座標値をプロッターか手書きでプロットした場合

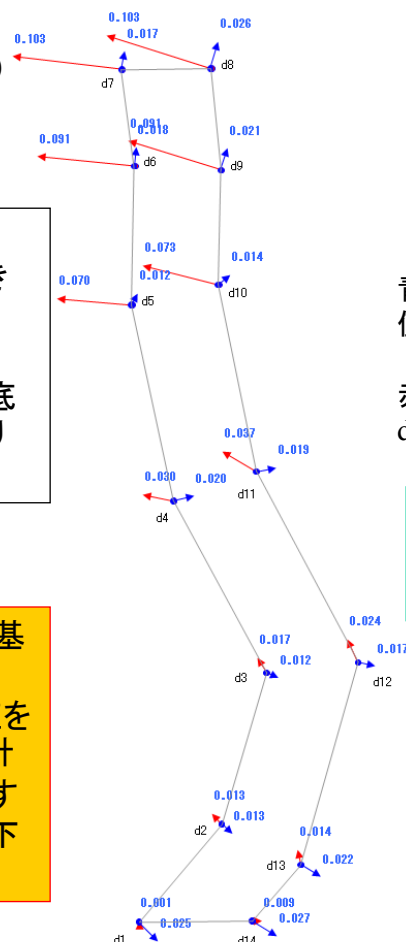
座標値から計算した辺長、底辺、高さとも mm単位で切り捨てcm表示の図面

この状態の値を復元値とは基本的にはしない。  
座標変換するための座標値を得たにすぎないが2円交点計算をする方はこれ復元値とする場合があるので注意して下さい。

青が三斜図→座標化プログラム使用

赤が2円交点計算、図最下部のd1,d14を基準に計算

平均で三斜図→座標化プログラムが2円交点計算に対して2.6倍 (0.0188mと0.0484m)



## 三斜→画地調整プログラムの能力

① 座標から辺長、底辺、高さを計算し mm表示の図面



mm単位の座標変換ベースで1.3倍

② 図面に座標値から計算した辺長、底辺、高さとも mm単位で切り捨てcm表示の図面



平均で三斜図→座標化プログラムが2円交点計算に対して計算ベースで2.6倍(0.0188mと0.0484m)

③ 平板に現地でプロットした図面に辺長をcmで実測、底辺、高さを10cmで読み取り



平均で三斜図→座標化プログラムが2円交点計算に対して計算ベースで5.8倍(平均で0.053と0.306)

ここにはないが最も精度が高いのはタスキ掛けの図面である、両タスキ掛けの場合の2円交点計算は複雑になり計算しにくい三斜図→座標化プログラムの場合は簡単にできる。

## 三斜辺長から画地調整

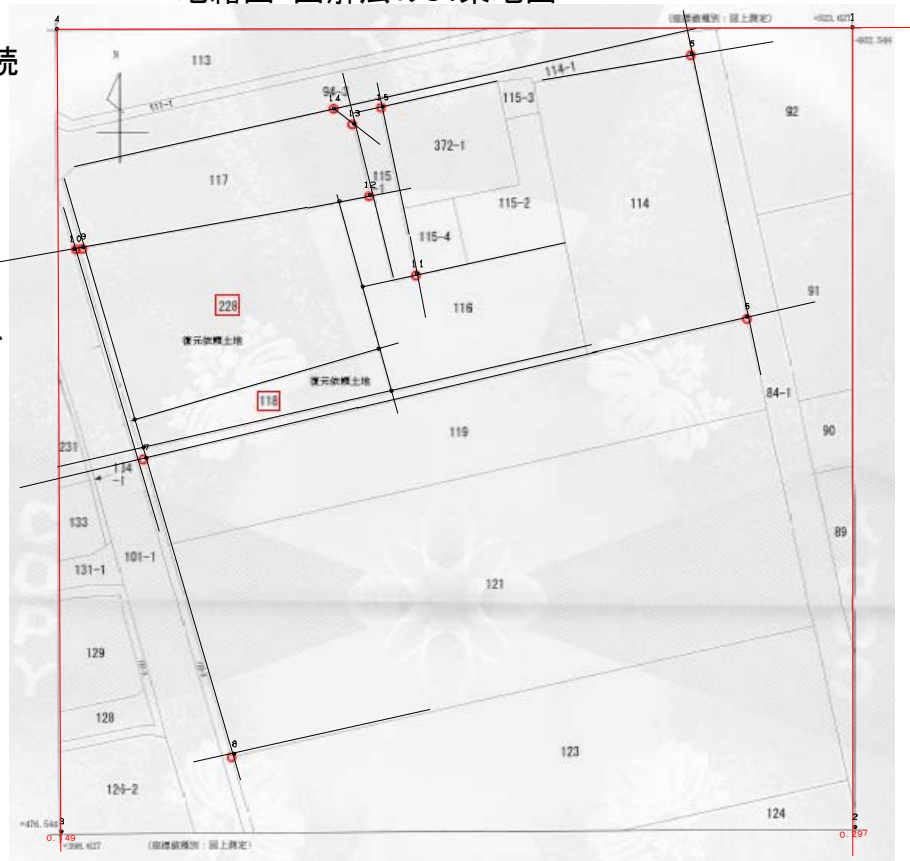
三斜図→座標化プログラム																行データ読み込みはドラックルにて「delete」キーで消すこと。 データの削除は「形式」を選択して「読み付け値」がOKでして下さい。																							
外周四角補正へ				三角形整合性へ				データ削除				一回目計算				二回目計算				CHECK				初期値保存				初期値削除				面積データ削除				面積データ削除			
座標		座標の標準偏差										伸縮率		計算結果		辺長		面積		底辺・高さの標準偏差																			
計算状況		実測標準差/平均値										0.0211		0.004		0.999038		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026													
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値		0.0023		0.001		実測標準差/平均値		0.0026															
座標	座標の標準偏差	0.0200										伸縮率		計算結果		実測標準差/平均値																							

## 地籍図・図解法の14条地図

原則・・・原図から読む  
(市役所等でコピーを入手してスキャニングする)

必ず図郭線又はトンボを使って補正  
(外部四点補正)を掛けてから使う。

地積測量図も同じ



## 外部4点補正

図郭基準で外部4点補正を図面に掛ける

# 外部四点補正

topに戻る

データ削除

図面読取り値				図郭のトンボの値		
象限	点名	X	Y	点名	X	Y
1	①	229.802	348.545	①	56828.452	12031.010
2	2	92.102	348.493	2	56702.452	12031.010
3	3	92.102	211.164	3	56702.452	11906.010
4	4	229.792	211.307	4	56828.452	11906.010
番号	点名	X	Y	点名	変換値 X	変換値 Y
1	61	135.937	270.165	61	56742.563	11959.686
2	62	137.827	273.723	62	56744.293	11962.923
3	63	142.830	279.060	63	56748.871	11967.778
4	64	175.518	277.726	64	56778.784	11966.541
5	65	219.213	276.836	65	56818.769	11965.702
6	66	221.436	278.393	66	56820.803	11967.119
7	69	203.981	306.967	69	56804.826	11993.156
8	71	189.416	329.648	71	56791.498	12013.824
9	72	173.961	348.438	72	56777.356	12030.949
10	73	139.939	348.438	73	56746.224	12030.929
11	80	204.523	241.785	80	56805.327	11933.786
12	81	229.815	257.244	81	56828.472	11947.851
13	82	218.612	218.107	82	56818.221	11912.211
14	83	229.717	228.136	83	56828.383	11921.338
15	60	117.258	274.501	60	56725.470	11963.645
16	80-2	212.007	228.479	80-2	56812.176	11921.662
17						
18						
19						

図郭の読取値は図面北東角を①番として時計回りに2,3,4番の順で入力してください。

①番のトンボ値または図郭値を入力しピッチ入力すると2,3,4番の値が確定します。

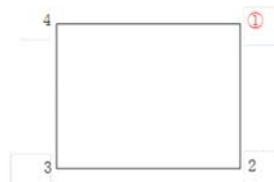
行データを消す場合は「ドラック」して「delete」キーで消すこと。  
貼付は「座標データ」シートに行き、点名の最初のセルを右クリック、「形式を選択して貼り付け」「値」「OK」でします。

結果のコピーは範囲をドラックしてコピーしてください。

このシートは他のシートと連動していません。

図郭の読取り値は図面北東角を①番として時計回りに2,3,4番の順で入力してください。

①番のトンボ値または図郭値を入力しピッチ入力すると2,3,4番の値が確定します。



行データを消す場合は「ドラッグ」して「delete」キーで消すこと。  
貼付は「座標データ」シートに行き、点名の最初のセルを右クリック、「形式を選択して貼り付け」「値」「OK」でします。

結果のコピーは範囲をドラッグしてコピーしてください。

このシートは他のシートと連動していません。



[illegible]

戦災復興区画整理図

街区の角度の記載が無い。  
辺長と面積の記載がある。

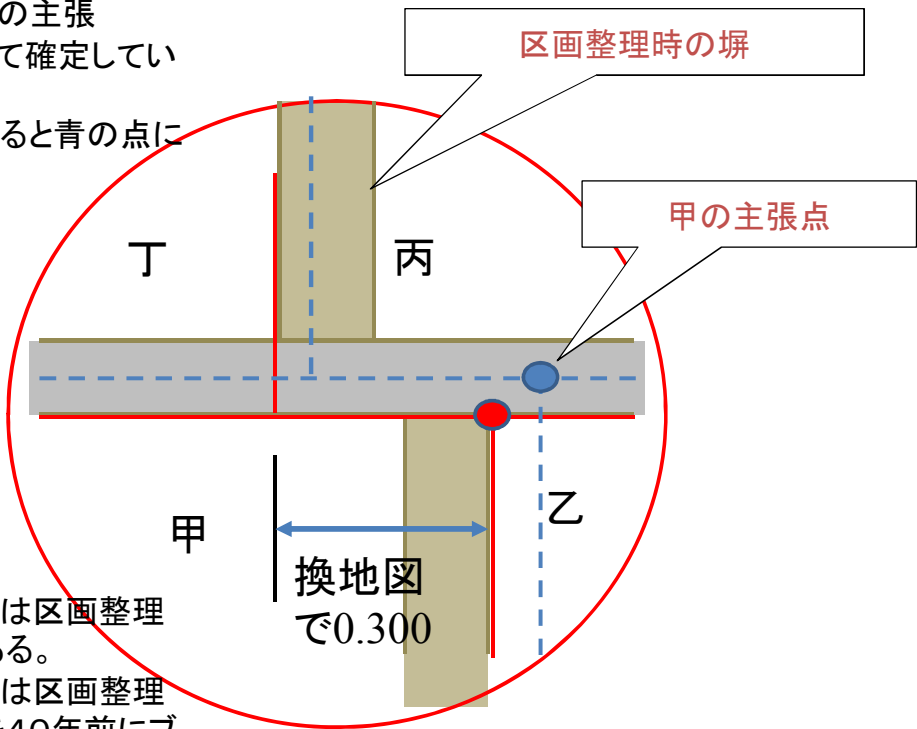


復興区域の一街区を抜き取った換地図

紛争内容

甲(土地家屋調査士)の主張

- ① 街区は区によって確定している
- ② 街区から復元すると青の点になる。

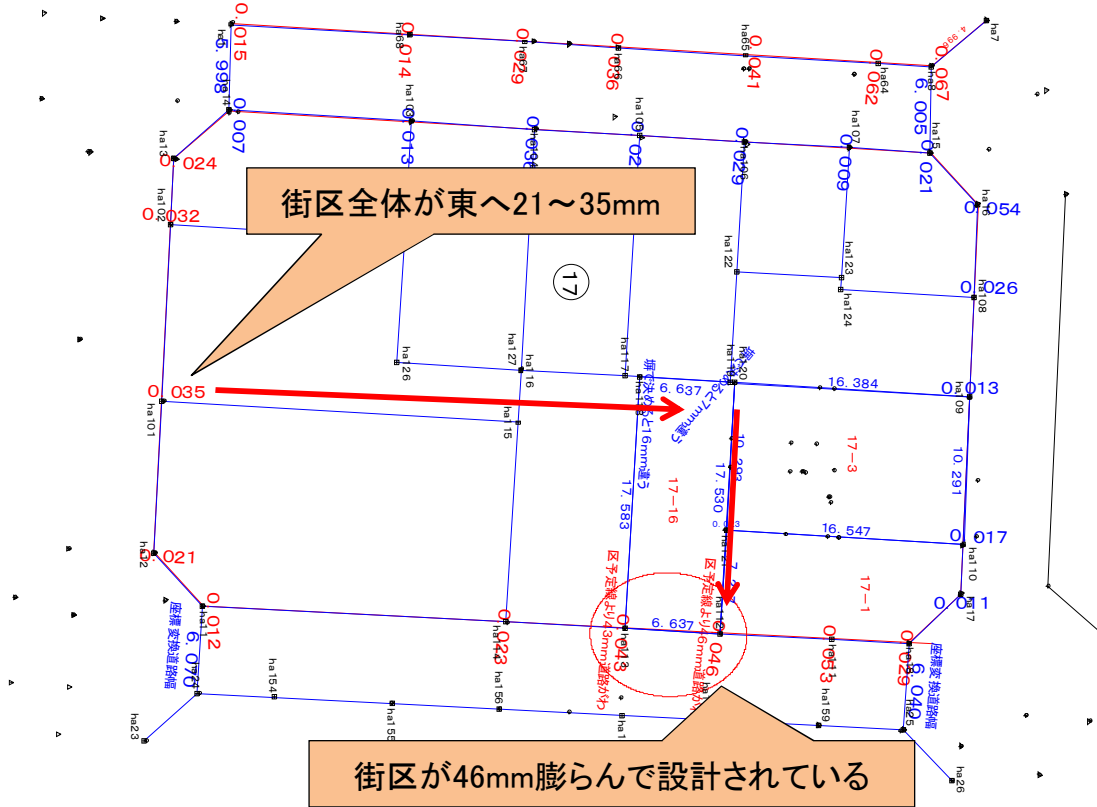


乙、丙、丁の主張

- ① 東西と北側の塀は区画整理時に設置したものである。
- ② 南側に伸びる塀は区画整理時は板塀だったものを40年前にブロック塀に建て替えたものである。

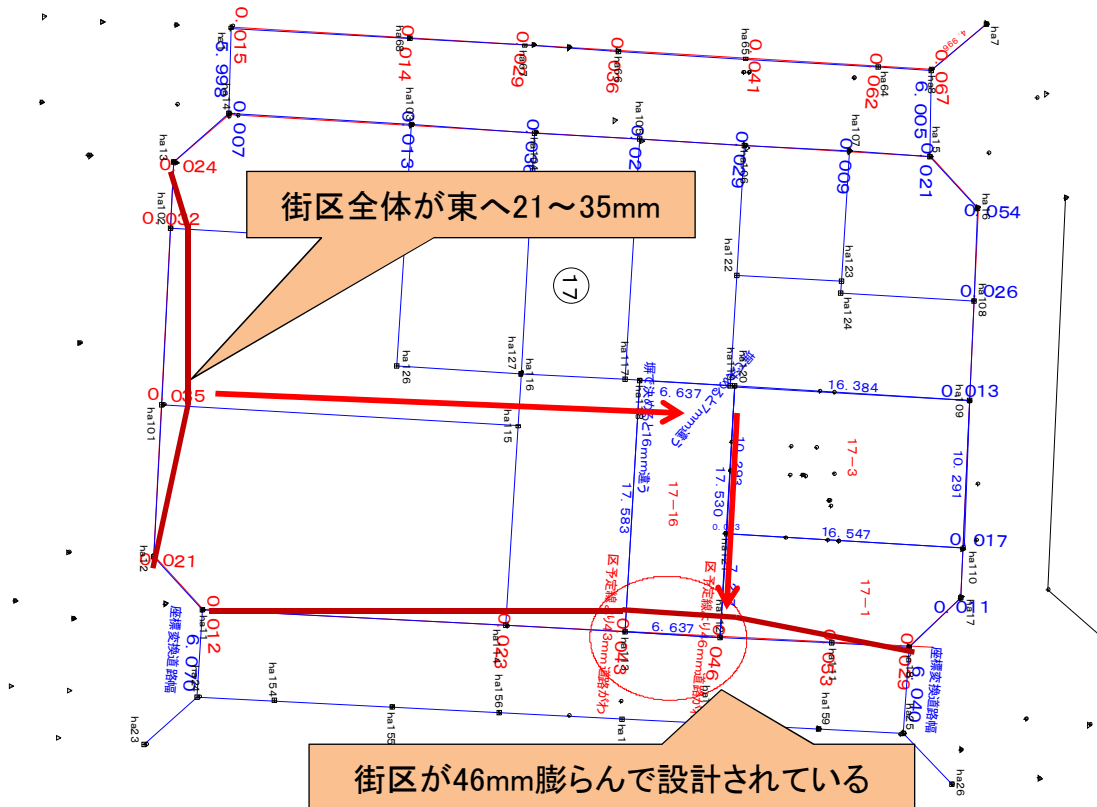
## プログラムで復元した結果

こんなことも判る



## プログラムで復元した結果

こんなことも判る







## 空中写真による座標値化 1



## 空中写真による座標値化 2

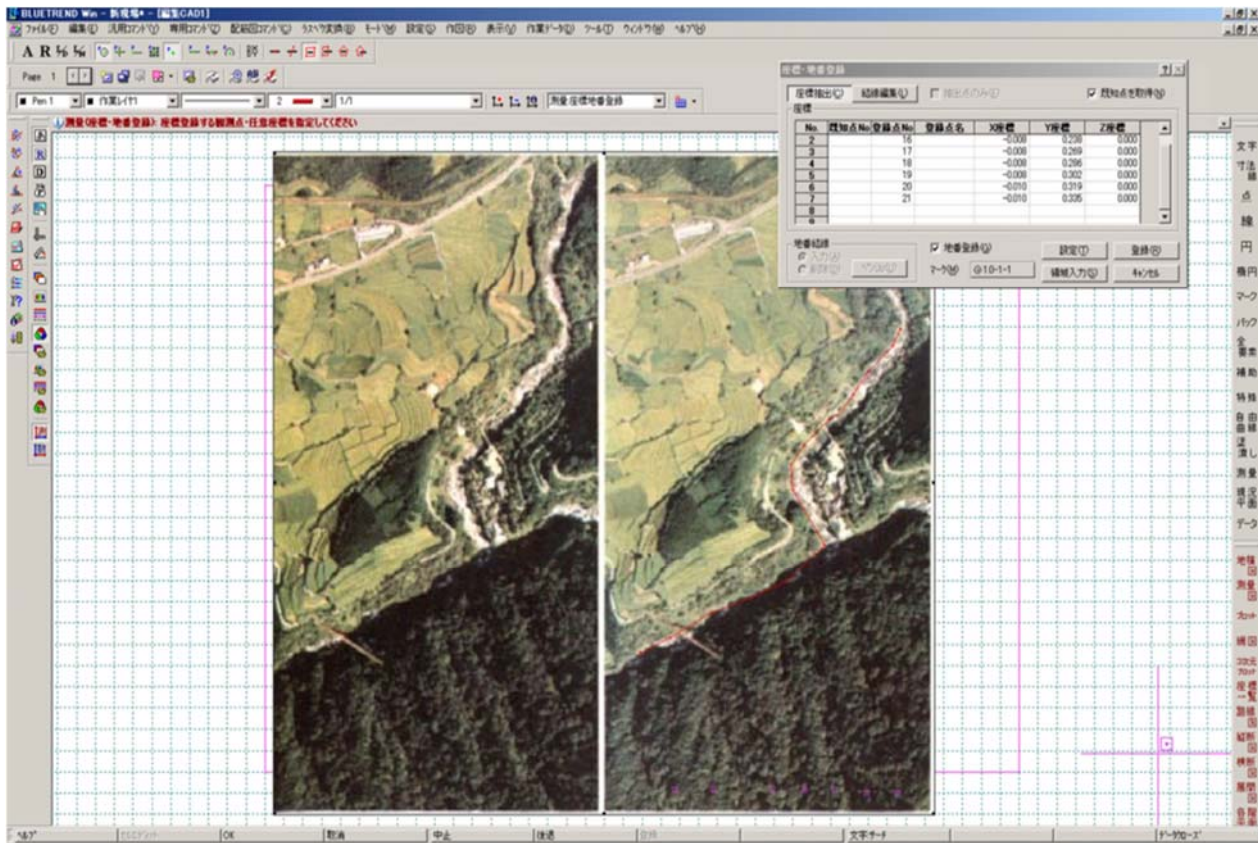
測量CADで任意座標を読みとる

三者筆界、水路、石垣、木などの不動点を中心に読む

No	既知点No/登録点No	登録点名	X座標	Y座標	Z座標
1	1		178.859	-215.823	0.000
2	2		166.101	-213.830	0.000
3	3		166.597	-212.832	0.000
4	4		158.822	-213.829	0.000
5					
6					



## 実体視による座標値化(CAD+実体視) 3



## 実体視による座標値化(実体視鏡) 4

古今書院

### ステレオミラービューワ



- \* 現場で使える**超ハンディな実体鏡**
- \* 空中写真を扱う技術者に大好評！ <取扱説明書付き>

\* 定価3465円(税込み)

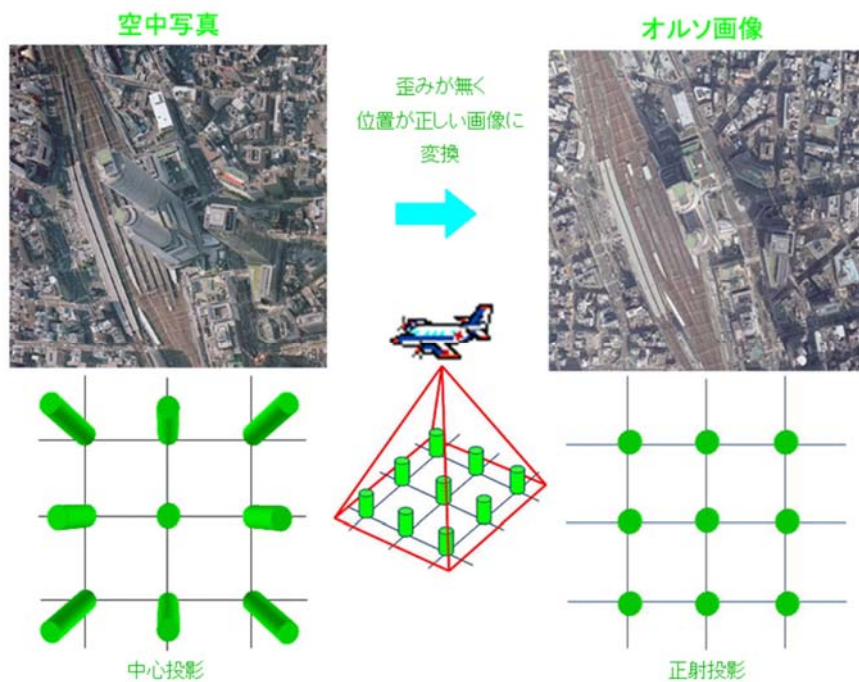
#### 【ステレオミラービューワ 3つの特徴】

- \* わずか60グラムの超軽量ハンディサイズ。
- \* 2枚の空中写真をそのまま並べて実体視ができる。
- \* 現場での作業効率アップに、講習会などでの写真判読に最適。
- \* 2枚の空中写真をそのまま並べて実体視ができます。
- \* 空中写真のオーバーラップ範囲をすべてカバー。
- \* 肉眼実体視の時のように曲げたりする必要はありません。
- \* 上部レバーの操作によりミラーの角度が変わります。
- \* 立って見ても座って見てもOK。

★こんな使い方もあります。たとえば・・・\* 空中写真を透明クリアファイルに入れたままで実体視。

- \* 空中写真をスライド撮影し、スクリーンに映して大勢で同時に実体視。
- \* 空中写真をスキャナーで取り込み、パソコン画面で実体視。

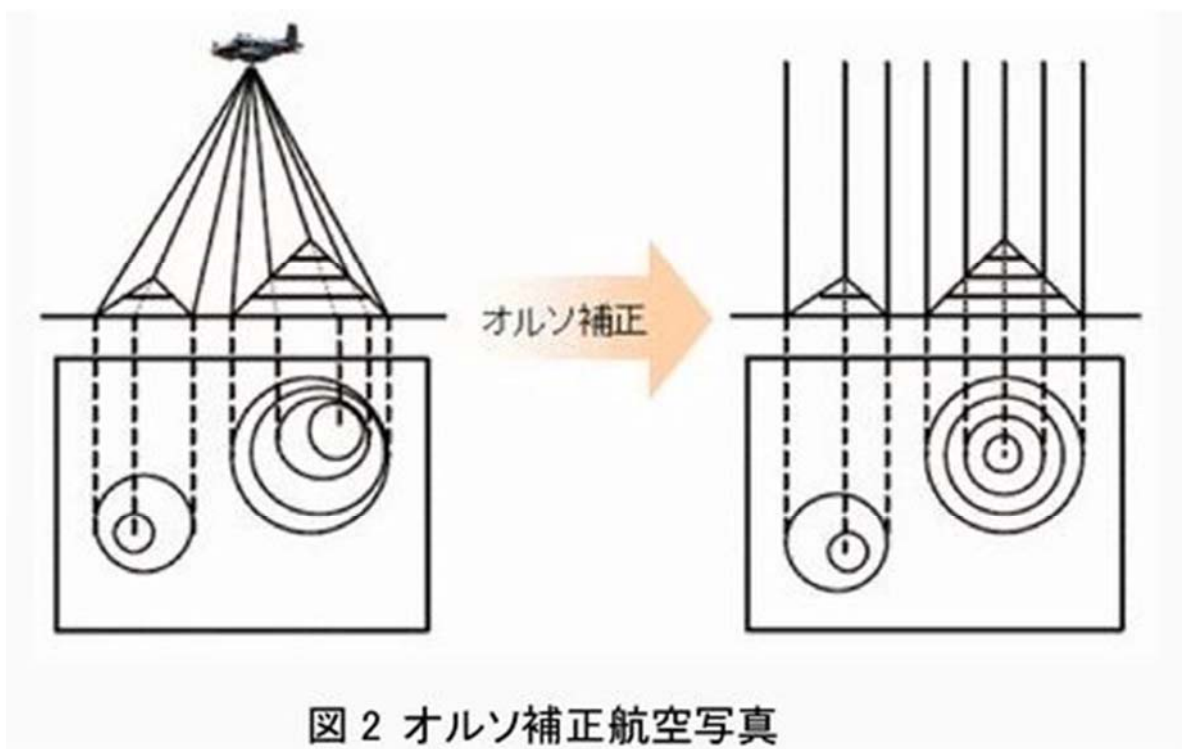
## オルソー画像による座標値化 5



この写真を測  
量CADに貼り  
付けて座標を  
読む

空中写真は縮  
尺が大きいので  
精度の期待は  
出来ない。

## 画像のオルソー化(原理) 6



## 空中写真の縮尺

撮影機関	撮影区域	撮影年次	縮 尺
日本陸軍	一部地域	1936～1944	
米軍	日本全国	1946～1948	約 1/40,000～1/50,000
	主要都市 鉄道沿線 海岸線	1946～1954	約 1/10,000～1/20,000
	沖縄	1944～1947 1962～1963	約1/15,000～1/40,000
国土地理院	ほぼ国内全域 (モノクロ、1979以降は 一部地域カラー)	1960年代～	約1/10,000～1/40,000
	全国(カラー)	1974～1978	平地部 約 1/8,000～1/10,000 山地部 約 1/10,000～1/15,000
民間企業	東京周辺	1997～	約 1/12,500
	全国主要都市 (カラー)	1998～	約 1/12,500
旧琉球政府	沖縄	1970	約1/10,000と1/20,000
沖 縄 県	沖縄(カラー)	1993～1994	約1/10,000

## 地図・空中写真閲覧サービス

[お気に入り](#)
[地図・空中写真の購入](#)
[地形図・地勢図閲覧](#)
[測量成果ファイル](#)

住所検索

緯度経度移動

検索

検索方法: 標準検索

作成・撮影年

西暦 年 から 西暦 年 まで

カラー種別

☒ カラー ☒ モノクロ

縮尺

-- ~ --

分類

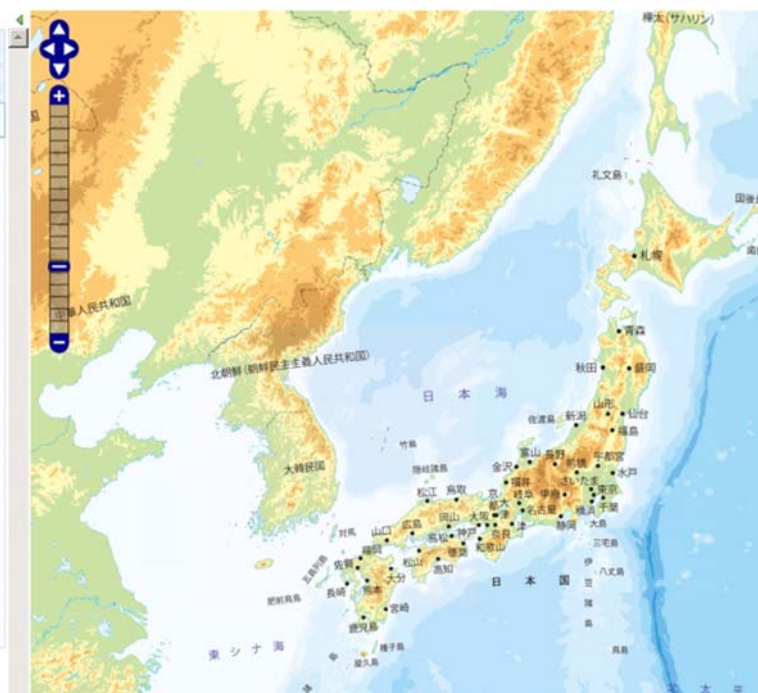
☒ 空中写真 ☒ 地形図・地勢図等  
☒ 主題図 ☒ 公共測量地図  
☒ 国土地理院

検索結果

☒ 地図の移動に合わせて更新する

並び: 中心距離 2画面表示

No.	作成・撮影年	分類	範囲
<a href="#">検索結果をサムネイル一覧表示</a> <a href="#">検索結果をKMLファイル出力</a>			





## 筆界の種類(制度論から)

### 「原始筆界」

明治の初めに「所有権界」を確認して筆界としたもの。

図面(改組図、更正図等)が作成されてから100年以上の年月が経過しており経年変化が多く見られること。

当時の測量技術の未熟さから図面の精度が低い。

### 「後発的原始筆界」

区画整理図、耕地整理図、土地改良図によって新たに筆界を形成したもの。

「図面の形を現地に作っている」ことが特徴で原始筆界とは形成過程が異なる。

### 「創設筆界」

土地の分筆登記によって形成されることから分筆登記に添付される地積測量図、分筆申告図によって形成過程を判断する。

その① 平板測量の時代に「現地を作って図面を作成した」ものがある。

その② 分割の基になる筆界を測量して「図面で分割点を計算し現地に分割境界標を設置した」ものがある。

(平板では①か②、トランシット測量、TS測量～② 最近の測量は全て②で行っている)

## 座標解析の目安

	判断の目安
① 多角点の使用可否(2点残り)	(座標値記載図面)多角点、筆界点の標準偏差を比較 3点以上の場合は基準点測量により判断
② 街区点の使用可否 分筆前の既存点使用可否	(座標値記載図面)区画整理図で街区点と筆界点の標準偏差を比較する (座標値記載図面)創設筆界で既存の点と分割点の標準偏差を比較する
③ 異常点の割合	TS-TS 15%, TS-Sテープ 22%, TS-図解 33%以内
④ 座標軸の直交性(AIC)	座標軸が直交しているはずのデータはヘルマート優位
⑤ ベクトル線の向きの傾向	ベクトル図から
⑥ 準拠点配点バランス	ソフト(操作マニュアル参考) or ベクトル図から
⑦ 標準偏差の期待値	TS-TS 10mm TS-Sテープ 20mm 平板50mm以内
⑧ 伸縮率の異常	TS-TS 0.9999~1.0001、TS-Sテープ 0.999~1.001、TS-図解 0.995~1.005、公図(更正図)1.1以下
⑨ 方向杭有無と処理	ベクトル図から(方向が疑われる点を準拠点から外してベクトル図を描いてみる)

標準偏差、伸縮率は各自の経験値で

この表で異常が確認されれば座標層別へと進む

## HP ・ プログラムの紹介

HPアドレス : <http://012.o.oo7.jp/>

座標解析 & 境界復元	: HenkanV1.5	Excel	2000～2010
-------------	--------------	-------	-----------

三斜 画地調整	: San_KakutiV1.4	Excel	2000～2003
		Excel	2007～2010

面積 画地調整	: Men_KakutiV1.1	Excel	2007～2010
---------	------------------	-------	-----------

この4つのプログラム(無料です)

変換を都合のいいように計算してるだけだろう……  
これだけのことを一定の法則でしてることが判れば……です